

〈論文〉

「西南コミュニティーカレッジ」における中国語公開講座の実践報告

単 艾婷

要旨

筆者は、2021年度本学「西南コミュニティーカレッジ」の公開講座において、前期「実用シーンで学ぶ中国語」、後期「おもてなしの中国語」を担当した。本稿は、公開講座で行った実施方法や工夫についてまとめ、受講者の反応や学びについて報告するものである。毎授業では音読や発表をととても楽しむ様子や社会人としての経験を生かして意欲的に学ぶ姿が見られた。最終のアンケート調査結果からは受講者が総じて講座内容に満足したことが確認された。このことから、本講座で行った実施方法や工夫などが受講者に概ね肯定的に受け止められたことが分かった。一方、基本的な「中国語の発音と文法」や「通常の日常会話」だけでなく「商談のシーン」など社会人受講者らしい要望が聞かれた。今後、このような講座を担当する機会があれば、社会人受講生の特性を踏まえて、より実用的で楽しめる講座の提供に努めたい。

0. はじめに

本学では、地域社会とのコミュニケーションを活性化させ、大学が持つ知的財産や多くの施設・設備を提供することにより、社会貢献を行い、地域から愛される大学を目指している。その一環として、あらゆる世代の「学びの場」として、公開講座「西南コミュニティーカレッジ」（西南コミュニティーセンターが実施する講座の総称）を開講している¹⁾。年間20以上の講座が開設されており、「学部等提供講座」と「教養講座」に分かれる。そのうち「教養講座」は、本学の建学の精神に関わるキリスト教から、哲学・心理学、語学・文学、歴史・文化・芸術、政治・経済・社会、自然・科学、健康・福祉と幅広いジャンルから提供する講座である。筆者は、2021年度の中国語公開講座（前期・後期）を担当させて頂く機会に恵まれた。本稿では、中国語公開講座における成果と課題を明らかにし、社会貢献の一環としての公開講座の意義を再確認する。

1. 公開講座の概要及び受講者

開講された講座は、前期「実用シーンで学ぶ中国語」、後期「おもてなしの中国語」の2つで、詳細は表1の通りである。

表1 公開講座の概要

	前期	後期
講座名	実用シーンで学ぶ中国語	おもてなしの中国語
期間	6月14日～7月19日	10月4日～11月8日

曜日・時間帯	月曜日 18:30～20:00	月曜日 18:30～20:00
形式	対面式	対面式
受講対象	一般人	一般人

各受講者の背景は、表2の通りである。前期の受講者はS1-S8の8名で、男性3名、女性5名である。年代は、20代1名、30代1名、40代1名、50代3名、60代2名であった。後期の受講者S5-S10の6名は、男性2名、女性4名で、50代4名、60代2名であった。受講の理由については、各受講者が口頭で述べたものを筆者が文字化した。なお、後期受講者4名（S5-S8）は、全員「前期の講座はすごく楽しかったので、後期も参加した」という理由を述べていたが、紙幅の都合上割愛した。

表2 受講者の背景

受講者	性別	年代	職業	中国語学習歴・受講の理由
S1	女	20	会社員	・中国語学習歴なし ・CAをやっているから、飛行機の中で中国人乗客のリクエストに応えたい
S2	女	30	会社員	・中国語学習歴なし ・職場に中国人のスタッフがいるので、話してみたい
S3	女	40	主婦	・中国語学習歴なし ・コロナで時間があるから、中国語をやってみたい
S4	男	50	会社員	・30年前大学での第二外国語が中国語だった ・取引先の一つが台湾なので、商談に関する中国語に触れてみたい
S5	男	60	退職者	・中国語の基礎がある程度分かる ・息子が中国で働いているので、コロナ明けたら、会いに行きたい
S6	男	50	会社員	・中国語学習歴なし ・何か一つ外国語をやってみたい
S7	女	50	自営業	・中国語の基礎がある程度分かる ・中華料理を経営しているから、中国人のお客さんを中国語で対応したい
S8	女	60	退職者	・中国語の基礎がある程度分かる ・仕事関係で台湾に半年間滞在していたので、もう少し中国語をやりたい
S9	女	50	主婦	・中国語の基礎がある程度分かる ・いままでラジオで中国語を独学していたけど、先生から直接教わりたい
S10	女	50	主婦	・中国語学習歴なし ・中国語のドラマ（時代劇）に興味があるので、中国語を勉強してみたい

2. 公開講座の実施にあたって心がけた点

公開講座の実施にあたって、基本方針として以下の点を心がけた。

- ① 内容の定着を図るために、毎回講座の冒頭で前回の内容を復習し、受講者の質問に答える時間を設け、各回の学習を繋ぐようにした。
- ② 授業の内容により良く興味を持ってもらうために、講座内容に関連する受講者自身の経験やエピソードについて語ってもらうようにした。
- ③ 受講者同士の交流を促進するために、講座の最後にペアで会話練習をしてもらう機会を設け、なるべく毎回違う人と組むように心がけた。
- ④ 中国語の基礎がない受講者や、発音が苦手な受講者の負担を減らすために、発音の補助としてカタカナのルビを添えるように心がけた。
- ⑤ 受講者の中国語レベルに配慮するために、毎回受講者の様子を見ながら、授業内容の量や難易度を調整するように心がけた。

3. 前期公開講座「実用シーンで学ぶ中国語」の実施内容及び受講生の反応

前期公開講座の実施にあたって、初級の実用的な中国語を担当してほしいという依頼を受けた。そこで、中国語圏を旅する際に使えるフレーズや会話の学習が受講者に役立つのではないかと考え、講座名を「実用シーンで学ぶ中国語」とし、目標・概要を次のように設定した。

本講座は中国語を気軽に話せるようになりたい方を対象に、自然に日常の会話フレーズが言えるようになることを目指します。中国語圏を旅する際に遭遇する場面で使える、短くて応用が効く表現を身につけましょう。また、中国語を勉強するとともに、中国の文化や社会習慣なども紹介します。ぜひ中国語での会話を楽しみましょう！

以上を踏まえて、講座の6回のテーマを表3のように設定した。

表3 「実用シーンで学ぶ中国語」の講座テーマ

回	月 日	テーマ
第1回	6月14日	飛行機に乗る
第2回	6月21日	ホテルに泊まる
第3回	6月28日	食事する
第4回	7月5日	道を尋ねる
第5回	7月12日	ショッピングする
第6回	7月19日	実践編

講座では、①「単語学習」②「会話学習」③「ワードバンクと応用表現」という3つのパートから構成されたプリントを作成して、受講者が中国語レベルに左右されずに活動に取り組めるようにした。また、毎回の講座の最後に「つぶやき欄」への記入を求め、講座

に対する質問や感想など、受講者の率直な声を集約できるようにした。なお、前期の講座は初級レベルを対象として開講されたものであるが、ある程度中国語の基礎がある受講者もいれば、まったく中国語に触れたことがない受講者もいた。そのため、通常の簡体字とピンイン表記以外に、カタカナ読みも添えた。基礎のある人にはピンインを、基礎のない人にはカタカナ読みを参考にするように伝えた。当然カタカナ読みのみを発音すると正確さに欠けるため、その上にさらに声調符号を振ってもらうようにした。以下、第1回～第6回の具体的な活動内容を紹介する。

第1回「飛行機に乗る」

まず、オリエンテーションとして、講座内容の紹介と授業の進め方について説明した。次に、受講者に自己紹介として名前、仕事、趣味、中国語の学習歴、講座を選択した理由などを発表してもらった。その後、第1回「飛行機に乗る」の内容に入った。「単語学習」では「会話学習」に出てくる新出語句10～15個を紹介し、「会話学習」では「機内で食べ物の希望」と「機内で飲み物の希望」という2つの場面での会話を学習し、「ワードバンクと応用表現」では機内関連の食べ物や飲み物、雑誌や新聞紙、税関申告カードなどの言い方を紹介した。また、筆者が以前帰国した際に、飛行機の中で配られた食べ物の実際の写真を受講者に見せながら、言葉の練習を行った。最後に、飛行機の中の場面を設定し、食べ物や飲み物、その他のリクエスト（毛布、新聞紙などがほしい）について、ペアで会話練習をしてもらった。受講者は、社会人であっても、恥ずかしがらずに楽しそうに一緒に音読をしたり、会話練習をしたりしていた。また、これまでの出張や旅行で飛行機に乗るエピソードを話す場面では、ファーストクラスに乗るシーンが語られるなど社会人特有の多彩な経験が聞かれた。

第2回「ホテルに泊まる」

「会話学習」では「予約ありのシーン」と「予約なしのシーン」という2つの場面での会話を学習し、「ワードバンクと応用表現」では数字の読み方、様々な部屋の種類、ホテルでトラブルがあったときの表現などを紹介した。最後に、ホテルの受付での場面を設定し、ペアで会話練習をしてもらった。ここで中国のホテルではチェックインする際に「デポジット」が求められることを説明し、日本で馴染みがない慣習についての情報提供を行った。また、受講者にはこれまでホテルに泊まった際の経験やエピソードについて話してもらった。日本国内や中国以外にも、アメリカやロシア、ベトナムのホテルでのエピソードなど、社会人受講生らしい幅広い経験が出し合われた。

第3回「食事する」

「会話学習」ではレストランで料理と飲物の注文やお会計の言い方について学習した。「ワードバンクと応用表現」では、中華料理のメニュー（写真付き）を見せながら、よく出てくる「前菜」「炒めもの」「スープ類」「主食」「飲み物」の言い方を紹介した。また「とりあえず生」や「ここのおすすめ料理はなんですか」などの応用表現も紹介した。ペアで会話を練習する際に、実際の中華料理メニュー表を用いて注文してもらった。好きな中華料理や、おすすめの中華料理屋について、どの受講者も喜んで話す姿が見られ、それぞれ

の嗜好など受講者相互の理解に繋がる情報が共有された。

第4回「道を尋ねる」

まず中国で「道を聞く」ときの注意点を紹介し、受講者の道を尋ねるエピソードについて話してもらった。「会話学習」では旅客と通行人の会話を通じ、道尋ねやバスの乗り方について学習した。「ワードバンクと応用表現」では、場所やお店（銀行、コンビニ、スタバックスなど）の言い方や方位詞を紹介し、「すみません、〇〇へはどのように行けばいいですか」「すみません、〇〇に行くには何番線に乗ったらいいですか？」などの応用表現を練習した。最後に、実際の地図を用いて行きたいところを尋ね、ペアで会話練習をしてもらった。自主的に前に出てきてホワイトボードに地図を描いて説明するなど、楽しそうに道案内をしていた。中国人観光客に出会う機会が来たら、実際に使いたいという発言がたくさん聞かれた。

第5回「ショッピングする」

「会話学習」では値段の聞き方や値引きの言い方、支払い方法について学習した。「ワードバンクと応用表現」では、中国の人気お土産の語彙や、「何がおすすめですか」「包んでください」「袋をください」などの応用表現を練習した。また、北京や上海のいくつかのショッピング場所を紹介し、受講者に旅行先でのショッピングやお土産を買うエピソードについて話してもらった。ベトナムの現地のスーパーでたくさんのフォーをお土産として購入した話や、中国で値引きに成功した話など面白い話が聞かれた。最後に、次回の「実践編」で使用する「中国語圏旅行計画」のプリントを配布し、発表の準備として旅行の計画を立ててもらった。「中国語圏旅行計画」は、中国語学習ジャーナル「Chinese Station」上の「学習素材」で挙げられた資料を参考に作ったものである。なお、実際に配布した資料については、付録1を参照されたい。

第6回「実践編」

まず第1回から第5回までの授業内容を振り返るとともに、補足として「観光地での会話」を紹介した。例えば、チケットの買い方や、写真撮りのお願い、お手洗いはどこにあるかなどの言い方である。次に、受講者一人ひとりが作成した旅行計画について発表してもらった。発表では、最初に受講者が考えた場面や人物設定を紹介してもらい、その後、それぞれの旅行計画を発表してもらった。その際、筆者が会話の相手役を務めた。受講者が考えた中国語圏旅行企画の目的地は「上海」「蘇州」「北京」「台湾」などであった。以下に、受講者が実際に作成した資料を2つ紹介する。

<受講者が作成した中国語圏旅行企画例>

図1は、受講者S5が作成した資料である。目的地は「蘇州」で、観光スポットは①「拙政園」（拙政園）②「山塘街」（山塘街）③「変臉」（変顔）である²⁾。想定されたシーンは、駅でのタクシー乗り場のお尋ね、ホテル受付でのチェックイン、喫煙可否のお尋ね、レストランでの食事（注文、おすすめ料理のお尋ね、会計）などである。S5の企画書では、観光スポットに関する紹介や、それぞれのシーンにイラスト付きといった工夫が見られ、

とても分かりやすく、受講者の熱意が伝わってきた。

図2は、受講者S8が作成した資料で、目的地は「上海」である。想定されたシーンは、ホテル受付でのチェックイン、ホテル受付での道尋ね（博物館に行きたい）、レストランでの食べ物・飲み物の注文や会計などである。S8の企画書では、講座の第2、3、4回で紹介したフレーズが多く活用されており、旅行企画書作りが既習の振り返りの良い機会になったことがうかがわれた。

中国語旅行企画書

作成者: []

目的地: 苏州

観光スポット: 拙政園, 山塘街, 留声机博物馆

シーン①: 飛行機に乗る
シーン②: ホテルに到着する
シーン③: 食事する
シーン④: 道を尋ねる
シーン⑤: ショッピングする

行きたいところ (行ったところ) を皆さんに紹介しながら、今まで習ったフレーズを使ってみましょう！習っていないことは日本語で構いません。1泊2日で設定しましょう。

1日目

時間	場所	予想される使用フレーズ
12:00	苏州西园街	姑苏苏州西园街
13:00	苏州街	苏维在哪里?
14:00	拙政园	拙政园在哪里? 在哪里? 在哪里?
15:00	留声机博物馆	在哪里?
16:00	苏州街	在哪里?
17:00	苏州街	在哪里?
18:00	苏州街	在哪里?
19:00	苏州街	在哪里?
20:00	苏州街	在哪里?

2日目

時間	場所	予想される使用フレーズ
12:00	苏州西园街	姑苏苏州西园街
13:00	苏州街	苏维在哪里?
14:00	拙政园	拙政园在哪里? 在哪里? 在哪里?
15:00	留声机博物馆	在哪里?
16:00	苏州街	在哪里?
17:00	苏州街	在哪里?
18:00	苏州街	在哪里?
19:00	苏州街	在哪里?
20:00	苏州街	在哪里?

メモ・備考欄 (質問など自由に記入ください)

① 苏州在哪里? 在哪里?
② 拙政园在哪里? 在哪里?
③ 拙政园在哪里? 在哪里? 在哪里?

図1 受講者S5が作成した資料

中国語旅行企画書

作成者: []

目的地: 上海

観光スポット: []

シーン①: 飛行機に乗る
シーン②: ホテルに到着する
シーン③: 食事する
シーン④: 道を尋ねる
シーン⑤: ショッピングする

行きたいところ (行ったところ) を皆さんに紹介しながら、今まで習ったフレーズを使ってみましょう！習っていないことは日本語で構いません。1泊2日で設定しましょう。

1日目

時間	場所	予想される使用フレーズ
14:00	酒店	你好! 我要一个房间。 你预订了吗? 预订了, 我叫叫! 我已经订好了。 好的, 我订一下, 你的房间是700元。 谢谢你, 这是给你的。 15:00 酒店 你好! 请问哪里有博物馆? 酒店, 在公园旁边。 在哪里, 怎么走? 从这里往前走, 一直走, 然后在第一个十字路口左转, 在马路左边有博物馆。 好的, 谢谢你。

2日目

時間	場所	予想される使用フレーズ
12:00	餐厅	服务员! 你好! 您点菜吗? 对, 来两份水饺和两碗米饭。 好的, 要什么饮料? 来一杯啤酒和一杯乌龙茶。 好的。 13:00 服务员! 买单, 一共多少钱? 一共三百四十五块。 好的, 今天我请客。 我吃好了, 谢谢。

メモ・備考欄 (質問など自由に記入ください)

図2 受講者S8が作成した資料

4. 後期公開講座「おもてなしの中国語」の実施内容及び受講生の反応

後期の公開講座は、「前期は中国語圏へ旅する際の場面設定だったが、後期はその逆バージョンはどうか」という講座担当者からの助言を受け、中国語教育の第一人者である相原茂氏が執筆された教科書『ニーハオ！ニッポンーふりむけば、中国語。』（朝日出版社2018）を参考に企画したものである。筆者が非常に共感を覚えるのは、相原氏が教科書の冒頭で述べられている次のような言葉である。

（前略）

中国からのお客さんも爆買の季節はすぎて、
このごろは日本を体験する時期に入っている。
都会ばかりでなく地方にも足を向ける。
それにともない、日本全国が中国語で表現されつつある。
まさに「中国語化するニッポン」である。
彼らは日本の文化や人々に触れ、さまざまな感想をもつ。
日本で中国語を学んでいる学生諸君には、
街で中国語圏からの旅行者に出会ったとき、
なにか一言中国語を発して欲しいと思う。
ことばこそ、最良の「おもてなし」と思うからである。

相原・朱（2018：前書き）

以上の経緯を受けて、「おもてなしの中国語」の目標・概要を次のように設定した。

本講座は、日本を舞台に初めて来日する中国人の友達をおもてなしできるようになることを目指します。「日本到着」「電車で」「化粧品売場で」「美味しい日本料理をどうぞ」「お土産を買う」「別れ」という6つの場面を設定し、簡単に実用的な表現を紹介します。また、中国語の基本を勉強するとともに、日本の文化をどのようにして中国人に紹介するかを一緒に考えていきます。ぜひ中国語での会話を楽しみましょう！

相原氏の教科書は主に東京を舞台にしているが、筆者と講座の受講者は福岡に住んでいるので、福岡を舞台に福岡の観光スポットやお祭り、グルメなどを紹介しようと考えた。インターネット上で福岡の観光情報を色々と検索したところ、福岡観光コンベンションビューローにより発行されている観光ガイドブックが見つかった。これは福岡の観光情報を一冊にまとめた外国語ガイドブックで、中国語（簡体字・繁体字）だけでなく、多言語のものが用意されている。インターネット上で電子版も見られるが、無料で取り寄せることができるので、中国語（簡体字）と日本語版を一冊ずつ取り寄せた。会話を作成したり福岡のことを紹介する際に、大いに参考になったので、自学資料として受講者にも勧めた。

講座の6回のテーマは、表4の通りである。

表4 「おもてなしの中国語」の講座テーマ

回	月 日	テーマ
第1回	10月4日	日本到着
第2回	10月11日	電車で
第3回	10月18日	化粧品売場で
第4回	10月25日	美しい日本料理をどうぞ
第5回	11月1日	お土産を買う
第6回	11月8日	別れ・実践編

講座では、後期の内容に合わせて①「会話学習」②「ポイント学習」③「福岡に関する紹介」という3つのパートで構成されたプリントを用意した。また、毎回の講座の最後に「授業アンケート」への記入の協力を求め、質問や感想だけでなく、①②③の難易度や授業の進むスピードなど、より具体的に講座に対する受講者の声を把握するようにした。なお、後期の講座も前期同様に初級レベルを対象として開講されたものであるが、受講者のレベルは多様であったため、ピンイン表記だけでなくカタカナ読みを添えたり声調符号を振ってもらったりするなど受講者のレベルに応じた対応を行った。以下、第1回～第6回の具体的な活動内容を紹介する。

第1回「日本到着」

まず、オリエンテーションとして、講座内容の紹介および授業の進め方についての説明を行った。次に、受講者に自己紹介（名前、仕事、趣味、中国語の学習歴、講座を選んだ理由など）をしてもらった。その後、第1回「日本到着」の内容に入った。「会話学習」では登場人物を初来日の「李艾」（あいさん）とボランティアガイドの「北原優」（北原君）に、おもてなしの舞台を「福岡」に設定した。ここでは、福岡空港に到着したシーン、ホテルの受付でチェックインのシーン、翌日の打ち合わせのシーンについての会話を学習した。「ポイント学習」では、「挨拶と数字①」「人称詞・指示詞」、またよく使う構文「是～」「想～」を学習した。「福岡に関する紹介」では、福岡主要観光スポット（キャナルシティ博多、櫛田神社、大濠公園、中洲屋台、福岡タワー、太宰府天満宮など）の中国語での言い方および一言紹介を一緒に考えた。最後に、自分が行きたい（案内したい）ところを置き換えてペアで会話練習をしてもらった。6名の受講者のうち、4名は地元のことなのでとても馴染みがあるように見え、残りの2名の県外出身者に紹介したくてたまらない様子が見られた。県外出身者の2人は福岡に来たばかりだったので、中国語による観光案内に触発されていた。後日談になるが、実際に紹介された通りの名所を訪ねていた。

第2回「電車で」

「会話学習」では、あいさんが北原君と一緒に電車で太宰府と柳川に行くシーン、太宰府と柳川に到着したあとのシーン、福岡の地下鉄路線図を持って話しているシーンについ

ての会話を学習した。これらのシーンでは、福岡観光ガイドブック中国語簡体字版の58頁と56頁(図3)の情報をベースに会話を作成した。実際に作成した会話は図4の通りである。「ポイント学習」では、「挨拶と数字②」「乗り物の名称」を学習した。「福岡に関する紹介」では、福岡主要観光スポットの復習と地下鉄の駅名を練習した。最後に、電車の乗り方や料金の尋ね方についてペアで会話練習をしてもらった。「観光ガイドブックに記載された太宰府・柳川の観光チケットは知らなかったので、ぜひ使ってみたい」「いつも見ている地下鉄路線図を中国語で見るのが新鮮だった」といった感想が聞かれた。



图3 福岡観光ガイドブック(中国語簡体字版)58頁と56頁を引用

<会話の学習>

あいさんは北原君と一緒に電車に乗って、太宰府と柳川に行きます。

北原：昨晚睡得好吗？ズオワン シュエイ ドー ハオ マ？
Zuówǎn shuì de hǎo ma?

李文：很好，谢谢。ヘン ハオ， シエシエ。
Hěn hǎo, xièxiè.

北原：今天我们去太宰府和柳川。

Jīntiān wǒmen qù Tàizǎifǔ hé Liǔchuān.
ジンティエン ウオメン チュー タイ ザイ フー ホー リウチュアン。
李文：好的，ハオダ。

Hǎode.

从天神到太宰府要多长时间？

Cóng Tiānshén dào Tàizǎifǔ yào duōcháng shíjiān?
フオン ティエンシェン ダオ リウチュアン ヤオ ドウオチャン シーゼン？
北原：三十分钟左右。サン シー フェンジョン ズオヨウ。

Sān shí fēnzhōng zuǒyóu.

李文：从天神到柳川要多长时间？

Cóng Tiānshén dào Liǔchuān yào duōcháng shíjiān?
フオン ティエンシェン ダオ リウチュアン ヤオ ドウオチャン シーゼン？
北原：五分钟左右。ウー シー フェンジョン ズオヨウ。

Wǔ shí fēnzhōng zuǒyóu.

李文：要多少钱？ヤオ ドウオシャオ チエン？

Yào duōshǎo qián?
北原：三千八十日元。サン チエン バー シー リーユェン。
Sān qiān bā shí yuán.

二人は太宰府と柳川に着きました。

(太宰府到着)

北原：我们到太宰府了。ウオメン ダオ タイ ザイ フー ラ。

Wǒmen dào Tàizǎifǔ le.
李文：红！真漂亮！ホンイエ ジェン ビヤオリアン！
Hóngyè zhēn piàoliang!

北原：我们去参拜一下吧。ウオメン チュー ツァンバイ イーシア バ。
Wǒmen qù cānbài yíxià ba.

李文：好的。这是什么？ハオダ， ジョー シー シェンマ？

Hǎode. Zhè shì shénme?
北原：这是梅枝团。ジョー シー メイジー ピン。

Zhè shì Méizhī bing.

李文：味道不错，好吃。ウェイダオ ブーツオ， ハオオ。

Wèidào bùcuò, hǎochī.
Wéidào bùcuò, hǎochī.

(柳川到着)

北原：我们到柳川了。ウオメン ダオ リウチュアン ラ。

Wǒmen dào Liǔchuān le.

李文：这里鳗鱼饭很有名吧？

Zhèlǐ zhǎnglóng mǎnyúfàn hěn yǒuming ba?

ジョーリ ジョンロン マン ユー ファン ヘン ヨウミン バ？

北原：对，我们去吃吃吧。ドウイ， ウオメン チュー チー バ。

Duì, wǒmen qù chī ba.

北原：今天我请客。ジンティエン ウオ チンコー。

Jīntiān wǒ qǐngkè.

二人は地下鉄路線図を持って話している。

北原：这是地铁线路图。ジョー シー ダイーティエ シエンルー トゥー。

Zhè shì dìtiě xiànlù tú.

李文：我现在在博多。ウオメン シエンザイ ザイ ボードウオ。

Wǒmen xiànzài zài Bódō.

李文：我想去天神买东西。ウオ シアン チュー ティエンシェン マイ ドンシ。

Wǔ xiǎng qù Tiānshén mǎi dōngxi.

北原：好的。坐三站就到了。ハオダ， ズオ サン ジャン ジャウ ダオ ラ。

Hǎode. zuò sān zhàn jiù dào le.

李文：多少钱？ドウオシャオ チエン？

Duōshǎo qián?

北原：买一日券比较合算。マイイー リー チュエン ビージャオ ホースアン。

Mǎi yī rì quǎn bǐjiào hésuàn.

李文：一日券多少钱？イー リー チュエン ドウオシャオ チエン？

Yī rì quǎn duōshǎo qián?

北原：六百四十日元。リウバィ スー リーユェン。

Liù bǎi sì shí yuán.

図4 上記の図3の情報をベースに筆者が作成した会話

第3回「化粧品売場で」

「会話学習」では、あいさんが化粧品売場で化粧品を買うシーン、おしゃれ雑貨屋さんロフトで買い物をするシーンについての会話を学習した。「ポイント学習」では「疑問詞の使い方」「量詞の使い方」を紹介した。「福岡に関する紹介」では、日本の人気商品（化粧品、家電製品、健康サプリメントなど）の言い方を学習した。最後に、上記で紹介した人気商品の中から自分が買いたいものをピックアップし、ペアで会話練習をしてもらった。人気商品を紹介する場面では、おすすめの商品やお店について、どの受講者も喜んで話す姿が見られ、受講者相互の理解に繋がる情報が共有された。

第4回「美味しい日本料理をどうぞ」

「会話学習」では、あいさんが北原君と一緒にレストランで日本の焼肉を食べるシーン、喫茶店で抹茶ケーキを食べるシーンについての会話を学習した。「ポイント学習」では「疑問詞の使い方」の復習や、中国語の外来語の種類とその作り方について紹介した。「福岡に関する紹介」では、日本体験（着物を着る、温泉に入るなど）、日本料理（てんぷら、刺身、焼き鳥、すき焼きなど）、福岡料理（とんこつラーメン、もつ鍋、水炊き、ごまさばなど）、デザート（ケーキ、プリン、だんご、博多あまおうなど）の言い方を紹介した。最後に、上記で紹介した料理やデザートの中から自分が食べたいものをピックアップし、ペアで会話練習をしてもらった。日本体験や日本料理を紹介する場面では、受講者それぞれ好きな料理や、おすすめのお店について、楽しそうに会話練習に取り組む姿が見られた。

第5回「お土産を買う」

「会話学習」では、あいさんが北原君と日本のお土産について話すシーン、あいさんが

実際に自分が帰国する前のショッピングリストについて話すシーンを学習した。相原・朱(2018:133)でも「相手に相応しいお土産をプレゼントするから、中国人は帰国前のショッピングが大変!」と紹介されているが、気持ちを込めて相手に相応しいお土産をプレゼントするからこそ、自分の気持ちがより良く伝わるので、大変なことであっても非常に楽しいことでもあるという筆者の考えを伝えた。「ポイント学習」では、「年月日」「曜日」「四季」の言い方を学習し、中国の伝統行事と日本の年中行事・祝日の言い方を紹介した。「福岡に関する紹介」では、日本全国の色々なお土産(白い恋人、八つ橋、東京ばな奈、うなぎパイ、もみじ饅頭など)や、福岡のお土産(通りもん、筑紫もち、明太子、博多人形、博多織など)を紹介した。最後に、上記で紹介したお土産の中から自分がお勧めするものをピックアップし、ペアで会話練習をしてもらった。ここで、次回の「実践編」での発表資料「おもてなし企画」を配布し、計画・記入してもらった。なお、実際に配布した資料については、付録2を参照されたい。

第6回「別れ・実践編」

まず「別れ」のパートでは、北原君があいさんの中国での連絡先を聞くシーンで中国の住所、メールアドレス、電話番号、よく使うSNSの言い方を学習した。また、空港で見送るシーンについての会話を学習した。次に「実践編」のパートでは、受講者一人ひとりが作成した「おもてなし計画」について発表してもらった。最初におもてなしのテーマや人物設定を紹介した上で、発表に入った。その際、前期と同様に、筆者が会話の相手役を務めた。受講者が考えたおもてなしテーマは、「接待」「天神での食事とショッピング」「山と温泉に行く」「李艾ちゃんが食べたいものを食べさせてあげよう♡」「豚骨ラーメンが好きな李艾さんを案内します」「在百道浜」(百道浜で)であった。受講者が実際に作成した資料を2つ紹介する。

<受講者が作成したおもてなし企画例>

図5は、受講者S5が作成した資料で、おもてなしテーマは「接待」である。主人公は「小野」と「王」で、主なシーンは①「在酒店迎接」(ホテルでの出迎え)②「走到中洲」(中洲まで徒歩)③「坐船」(屋形船に乗る³⁾)④「美味しい日本料理をどうぞ」⑤「二次会」であった。福岡の人気スポットの中洲を案内しながら、屋形船に乗り、福岡のグルメの「イカの刺身」や「焼き鳥」などを招待するといった内容の会話であった。Xの資料は、それぞれのシーンにイラスト付きといった工夫が見られ、とても分かりやすく、受講者の熱意や真面目さが伝わってくるものであった。

図6は受講者S7が作成した資料で、おもてなしテーマは「李艾ちゃんが食べたいものを食べさせてあげよう♡」である。主人公は「李艾」と「北原」で、主なシーンは①「福岡到着」②「電車で」③「レストランで」であった。ここでも福岡のグルメ「もつ鍋」や「イカの刺身」が登場し、美味しい日本料理とデザートでお客さんをおもてなすといった内容の会話であった。講座の第1、2、3回で紹介したフレーズが多く活用されており、おもてなし企画書作りがS7にとって既習の振り返りの良い機会になったと考えられた。



図5 受講者 S5 が作成した資料

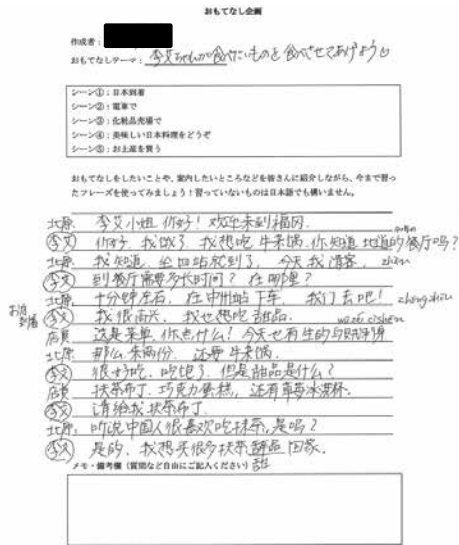


図6 受講者 S7 が作成した資料

5. 受講者の「ふり返し」及びアンケート調査の結果

公開講座に対して受講者がどのような感想を持ったかを把握するために、上述のように、毎回の授業後のふり返し活動（前期「つぶやき欄」・後期「授業アンケート」）と各回の最終回のアンケート調査（付録3・付録4）の2つを位置づけた。それぞれから得られた結果を報告し考察する。

(1) 受講者の「ふり返し」の結果

公開講座前期及び後期ともに、毎回受講者が無記名で感想を寄せていた。授業に関する質問が中心だったが、とりわけ、「もっと知りたい」関連の応用表現への質問が多く、受講者の意欲の高さがうかがわれた。また、受講者から「声に出して中国語を話したのが楽しかった」「難易度が丁度良かった」「先生がわかりやすく教えていただいた」「先生の授業のすすめ方がとてもよかった」「楽しかった」など有り難い感想も頂いたことから、授業の工夫が概ね肯定的に受け止められたことが分かった。

(2) アンケート調査の結果

<前期公開講座について>

前期のアンケート調査は計5つの質問を設けた。

質問1「講座の内容は難しかったですか」に関して、「ちょうどいい」4人、「やや難しい」1人、「やや易しい」1人であった。そのうち、「やや難しい」と感じた理由には、「30年ぶりの中国語だったので」という記述が見られた。講座の難易度は、受講者にとって適切な程度であったことが分かった。基礎のある受講者にも良い振り返り機会になったと考えられた。

質問2「今回の講座でとくに勉強になったと思うシーンにチェックを入れてください」

に関しては、シーン①「飛行機に乗る」は2人、シーン②「ホテルに泊まる」は5人、シーン③「食事する」は6人、シーン④「道を尋ねる」は4人、シーン⑤「ショッピングする」は3人、⑥「実践編」は3人であった。とくに勉強になったと思うシーンについて、少しばらつきが見られるのは、どのシーンも受講者にとって必要感があるからではないかと考えられる。また、「食事する」「ホテルに泊まる」「道を尋ねる」シーンが多く選択されたのは、旅行に行く際には誰でも必ず遭遇する場面であると想定されるからであろう。

質問3「質問2のシーン以外で、ほかに勉強してみたいシーンを記入してください」に関しては、「概ね、網羅していただいたと思います」という記述がある一方、「通常の日常会話」「自己紹介、家族、好きなもの」「おもてなしの中国語」「乗り物にのる場面」「商談のシーン（価格交渉やサンプルを依頼する）」などの要望もあった。今後の展望として、受講者の多くが社会人であり、仕事や対人関係で中国語を使う必要から受講している人もいることを考えれば、「商談のシーン（価格交渉やサンプルを依頼する）」なども取り入れる価値があると思われる。

質問4「中国語に関してほかに勉強してみたいことがあれば、記入してください」に関しては、「発音（マスクをしているので、口の動きがわからない）」「声調」「基本的な文法を理解したい」「基本的な日常会話を勉強したい」「発音、ピンイン、漢詩」「自己紹介を中国語で出来るようになりたい（会社案内）」との記述が挙げられた。全体として、講座で学んだ内容を実際に役立てたいという意欲が高いことがうかがわれた。また、「自己紹介を中国語で出来るようになりたい（会社案内）」というのは、仕事で中国語を必要とする社会人受講生が業種や仕事内容なども含めた自己紹介を中国語で出来るようになりたいと切実に思っている表れではないかと考えた。

質問5「ほかに何か質問や感想などがあれば、自由に記入してください」に関しては、「毎回楽しく参加することができました。先生の人柄も明るく、いい雰囲気でした。ありがとうございました」「初めて中国語に触れることができました。いい経験になりました。もう少し勉強したいと思います。ありがとうございました」といった記述が見られた。このことから、本講座で筆者が行った授業の方法や工夫などが肯定的に受け止められたことが分かった。

<後期公開講座について>

後期のアンケート調査は計7つの質問を設けた。

質問1「講座の内容は難しかったですか」に関して、「ちょうどいい」と感じたのは6人で全員であった。講座内容の難易度は、受講者にとって適切であったと考えられた。毎回、実際に受講者の反応を見ながら、難易度と量の調整を行い、難しいときは、ゆっくり丁寧に説明することや、毎回の冒頭で復習したり、繰り返したりすることを心がけたことが有効であったと考えられる。

質問2「プリントは分かりやすかったですか」に関しては、「とても分かりやすい」と感じたのは6人で全員であった。プリントの内容だけでなく、中高年の受講者のことを考

慮して、レイアウトやフォントの大きさ、行間などにも配慮したことが効果的だったことが分かった。

質問3「発音の補助としてカタカナのルビを添えましたが、役に立ちましたか」に関しては、「とても役に立った」は2人で、「やや役に立った」は4人であった。その理由としては、「ピンインを見た」という記述が見られた。受講者のレベルに応じた対応として、特に、基礎のない受講者にとってカタカナのルビの補助が役に立ったことが分かった。ただし、前期のアンケートにあったように、「マスクをしているので、口の動きがわからない」という今日的な問題があり、中国語学習する上で教師の口の動きを模倣しやすい環境を作ることの大切さが認識された。

質問4「今回の講座でとくに勉強になったと思うシーンにチェックを入れてください」に関しては、シーン①「日本到着」は5人、シーン②「電車」5人、シーン③「化粧品売場で」5人、シーン④「美味しい日本料理をどうぞ」6人、シーン⑤「お土産を買う」5人、シーン⑥「別れ・実践編」6人であった。このことから、どの立場の受講者にとっても必要になるであろうと想定した場面を厳選したことが有効だったことが分かった。

質問5「質問4のシーン以外で、ほかに勉強してみたいシーンがあれば、記入してください」に関しては、「スピーチ」「電話のかけ方」「ドライブに行く」「普通の女性（言葉遣い）の日常会話」といった記述があった。このことは、中国語レベルに関係なく受講者が日常必要とされる会話表現の上達を求めていると言えるだろう。

質問6「中国語に関してほかに勉強してみたいことがあれば、記入してください」に関しては、「簡単な文法を勉強したい」「中国の歌（カラオケで歌える曲）」「中国の漢字（文字？）」「簡単な会話でいいので、中国人が聞き取れるような発音ができるようになりたい。（4声が難しい）」「発音」といったことが挙げられた。このことから、やや難しいことにも挑戦したいという意欲が見て取れる。

質問7「その他、質問や感想などがあれば、自由に記入してください」に関しては、「中国語を読んで声に出すと中国が今まで以上に親しみがわいてきます」「楽しく学べました。ありがとうございました」「とても楽しい授業でした。久しぶりに中国語を勉強できて、嬉しかったです。谢谢！！」「今回も大変楽しかったです。ぜひ次回も期待しています」などの記述が見られた。このことから、本講座で行った授業の方法や工夫が総じて有効であり、本講座に概ね満足してもらえたことが推察されるとともに、社会人受講者の学ぶ意欲の高さが認識された。

6. おわりに

本稿では、筆者が2021年度本学「西南コミュニティーカレッジ」の公開講座において担当した「実用シーンで学ぶ中国語（前期）」、「おもてなしの中国語（後期）」での実施方法や工夫についてまとめ、受講者の反応や学びについて報告を行った。年齢もレベルも異なる社会人受講者に、いずれも限られた6回の講座で満足してもらえる授業を提供できるか心配されたが、それぞれの受講生が毎回の授業で音読や発表をととても楽しんでいく様子

が観察され、アンケート調査の結果からも満足してもらえたことが確認された。このことから、本講座の実施方法や工夫などが概ね肯定的に受け止められたことが分かった。

具体的な取り組みとして、必要感の高い場면을厳選して、毎回実際に受講者の反応を見ながら、難易度と量の調整を行うこと、難しいときは、社会人であってもゆっくり丁寧に説明すること、毎回の冒頭で復習したり、繰り返したりすること、基礎のない受講者にとってカタカナのルビの補助を行うことなどが有効であったと考えられる。

一方、受講者の反応や学びから、今後に向けた課題も明らかになった。受講生の多くが、単なる自己紹介にとどまらず業種や仕事内容等を含めた会社案内が出来るようになりたいとか、4声が悪くても中国人が聞き取れるような発音ができるようになりたいなど、実際に自分の仕事に役立てたり、やや難しいことにも挑戦したりすることを望んでいた。本講座の実践から、こうした社会人受講者の意欲や目的意識の高さに十分に答えられるような講座内容の検討がさらに必要であると考えた。

「西南コミュニティーカレッジ」は、社会人受講者の学びに応えるものであり、そうした学びの受け皿として公開講座が果たす役割は小さくない。今後、このような講座を担当する機会があれば、社会人受講者の特性を踏まえて、より実用的で、受講者の知的関心を高めるような講座の提供に努めたい。

注：

- 1) 公開講座「西南コミュニティーカレッジ」のホームページより (https://www.seinan-gu.ac.jp/education_study/lifelong_learning/extension.html) 最終アクセス日は2021年12月24日。
- 2) ここで挙げられた①「拙政園」(拙政園) ②「山塘街」(山塘街) ③「変臉」(変顔) について説明しておく。①「拙政園」は、ユネスコの世界遺産に登録されている蘇州の中国庭園で、蘇州の庭園の中で最も有名な庭園の1つである。②「山塘街」は、唐代の詩人である白居易が蘇州長官時代に蘇州城と虎丘をつなぐために作った水路の街である。③「変顔」は、変面師が手や扇子を顔にかざした瞬間、お面が次々と変わっていく中国の伝統芸能である。
- 3) 「屋形船」は、和船の一種で、主に船上で宴会や食事を楽しみ、屋根と座敷が備えられた船のことを指す。福岡博多で唯一の屋形船が、中洲で運航している「中洲はかた舟」であり、中洲の街の夜景を眺めながら、博多の中心的那珂川をゆっくりと運航する船である。

謝辞：

総合企画部社会連携課の佐々木理恵様をはじめ、担当者の皆様にこのような公開講座を担当する機会をいただき、心より感謝を申し上げます。大変お世話になりました。

参考文献

- 相原茂・朱怡穎（著）（2018）『ニーハオ！ニッポンーふりむけば、中国語。』朝日出版社
福岡観光コンベンションビューロー『福岡 観光ガイドブック』福岡おもてなし委員会
（日本語版、2020年3月現在）
福岡観光コンベンションビューロー『福岡 観光ガイドブック』福岡おもてなし委員会
（中国語簡体字版、2020年3月現在）

付録 1

公開講座 前期実践編「中国語圏旅行企画」

作成者： _____

目的地： _____

観光スポット： _____、 _____、 _____

- シーン①：飛行機に乗る
- シーン②：ホテルに泊まる
- シーン③：食事する
- シーン④：道を尋ねる
- シーン⑤：ショッピングする

行きたいところ（行ったところ）を皆さんに紹介しながら、今まで習ったフレーズを使ってみましょう！習っていないことは日本語で構いません。1泊2日で想定しましょう。

1日目

時間	場所	予想される使用フレーズ

2日目

時間	場所	予想される使用フレーズ

(中国語学習ジャーナル「Chinese Station」上で挙げられた資料を参考に作成)

公開講座 前期アンケート

1. 講座の内容は難しかったですか。

- ①難しい ()
- ②やや難しい ()
- ③ちょうどいい ()
- ④やや易しい ()
- ⑤易しい ()

2. 今回の講座でとくに勉強になったと思うシーンにチェックを入れてください。

- シーン①：飛行機に乗る ()
- シーン②：ホテルに泊まる ()
- シーン③：食事する ()
- シーン④：道を尋ねる ()
- シーン⑤：ショッピングする ()
- 実践編 ()

3. 質問2のシーン以外で、ほかに勉強してみたいシーンを記入してください。

4. 中国語に関してほかに勉強してみたいことがあれば、記入してください。

5. ほかに何か質問や感想などがあれば、自由に記入してください。

付録 4

公開講座 後期アンケート

1. 講座の内容は難しかったですか。

- ①難しい ()
- ②やや難しい ()
- ③ちょうどいい ()
- ④やや易しい ()
- ⑤易しい ()

2. プリントは分かりやすかったですか。

- ①とても分かりやすい ()
- ②やや分かりやすい ()
- ③どちらとも言えない ()
- ④やや分かりづらい ()
- ⑤分かりづらい ()

3. 発音の補助としてカタカナのルビを添えましたが、役に立ちましたか。

- ①とても役に立った ()
- ②やや役に立った ()
- ③どちらとも言えない ()
- ④あまり役に立たない ()
- ⑤役に立たない ()

4. 今回の講座でとくに勉強になったと思うシーンにチェックを入れてください。

- シーン①：日本到着 ()
- シーン②：電車で ()
- シーン③：化粧品売場で ()
- シーン④：美味しい日本料理をどうぞ ()
- シーン⑤：お土産を買う ()
- シーン⑥：別れ・実践編 ()

5. 質問 4 のシーン以外で、ほかに勉強してみたいシーンがあれば、記入してください。

6. 中国語に関してほかに勉強してみたいことがあれば、記入してください。

--

7. その他、質問や感想などがあれば、自由に記入してください。

--